

栃葉工だより

第32号

■平成23年度 定期総会

5月25日(水)、平成23年度定期総会が、宇都宮市上大曾町の「ホテル東日本宇都宮」にて開催されました。

総会に先立ち、溝田会長から、3月11日に発生した東日本大震災の犠牲者に哀悼の意を表し、被災者を見舞い、一刻も早い復興を祈りました。

会長のあいさつ、ご来賓の八島利光栃木県保健福祉部薬務課長のご祝辞に続き、優良従業員表彰式が開催されました。

今回は、27名の方々が表彰されました。受賞されたのは、当会会員の各企業において、長年勤務し、その成績が他の模範となる方々です。松谷副会長から受賞者選考経過の説明があり、会長から受賞者代表の方へ表彰状と記念品を贈呈いたしました。受賞者を代表して、HOYA(株)ベンタックス益子事業所の嶋田英男氏から謝辞がありました。

続いて、議事に移り、当会の規約により会長が議長となり、まず、事務局から出席者の報告(正会員53社のうち、出席29社、委任状提出20社)があり、総会が成立していることが確認されました。議長が議事録署名人2人(栃木精工(株)・日下田氏、富士フィルムオプティクス(株)・斎藤氏)を指名したのち、第1号議案「平成22年度事業報告」と第2号議案「平成22年度収支決算報告」が一括上程され、栄谷監事の監査報告の後、慎重に審議された結果、原案どおり承認されました。

続いて第3号議案「平成23年度事業計画(案)」と第4号議案「平成23年度収支予算(案)」についても同様に原案どおり可決されました。

その他で、避難所配置用医薬品の備蓄について、県と薬事工業会との間で「災害時における物資の供給協力に関する協定」を3月30日に締結したことを事務局が報告しました。

総会終了後に、優良従業員表彰の受賞者の記念撮影を行いました。



溝田会長あいさつ



八島薬務課長ご祝辞

優良従業員表彰受賞者一覧 (敬称略)

勤続30年以上

HOYA(株)ベンタックス益子事業所
嶋田 英男
HOYA(株)ベンタックス益子事業所
那花 孝子
不二ラテックス(株)
門脇 光城
不二ラテックス(株)
岸野 栄作
不二ラテックス(株)
荒川 文男
興 和(株) 仙波 美佐子
興 和(株) 有賀 とよみ

勤続20年以上

グラクソ・スミスクライン(株)
倉沢 正之
グラクソ・スミスクライン(株)
村原光太郎
中外製薬工業(株) 柳沼 功二
(株)シーボン 長谷川 浩
ジエーピーエス製薬(株)
永井 昭男
ジエーピーエス製薬(株)
吉羽 浩
ジエーピーエス製薬(株)
杉山 一幸

勤続10年以上

ジェーピーエス製薬(株)
富田 貞夫
栄研化学(株)野木事業所
浅野 淑恵
富士フィルムオプティクス(株)
大沢加里奈
富士フィルムオプティクス(株)
大川 裕
富士フィルムオプティクス(株)
横田 義和
富士フィルムオプティクス(株)
青木 光子

新役員あいさつ

新たに就任された理事の方々からご挨拶をいただきました。

田辺三菱製薬工場株式会社 三谷 豪 様



この度、前任の坂倉から引き継ぎ、栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、田辺三菱製薬工場株式会社足利工場の三谷です。弊工場は田辺三菱製薬株式会社の東日本の製造拠点の一つとして、県最南部の足利市、国道50号沿線に拠点を構え、固形製剤、半固形剤、注射剤等、幅広い剤形の医薬品製造を行っております。

日頃より薬務課、そして薬事工業会の皆様には情報交換や地域貢献などの協業、さらにはレギュレーション、GMP、製造技術の講習・研修等により、弊工場のレベルアップに向けて大変お世話になっております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後も栃木県薬事工業会の発展のため、微力ではありますが、弊工場一体となって精一杯頑張って参りますので、御指導・御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社シーボン

三上 直子 様



この度、前任の塚原から引き継いで栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、株式会社シーボンの三上です。

弊社は1966年創立の化粧品会社で、「美を創造し演出する」企業として国内のフェイシャルリストサロンを中心に製品を提供しております。栃木工場は河内郡上三川町で1968年に操業を開始し、国内製造拠点として主としてスキンケア製品の化粧品、医薬部外品を製造しております。

私自身は化粧品および医薬用原料の研究開発および技術支援業務に従事しておりましたが、昨年より研究開発および生産を担当する現職に就き、薬務課の皆様には多大な御指導を賜ることとなりました。

今後、薬事工業会の発展のため、微力ながら理事として御協力させていただき、少しでもお役に立てればと思っております。よろしくお願ひいたします。

株式会社ナカニシ

中西 賢介 様



この度、本年度より栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました株式会社ナカニシの中西です。

弊社は、本社及び工場を鹿沼市に置き、歯科器械の製造販売をメインに行っている医療機器メーカーです。2011年2月に会社創立60周年を迎えました。

歯科器械の他、動物用医療機器、外科用医療機器、一般産業機器の分野にも進出しています。現在、弊社の製品は、世界135カ国以上に直接輸出し、海外販売拠点は12カ所になりました。

日頃より薬務課、そして薬事工業会の皆様には多大な御指導・御鞭撻を賜っております。この場をお借りして御礼申し上げます。

今後、薬事工業会の発展のため、微力ではございますが理事として協力させていただき、少しでもお役に立てればと思っております。よろしくお願ひいたします。

平成23年度 栃木県薬事工業会役員一覧（敬称略）

平成23年9月30日現在

役職名	氏名	会社名	役職名	氏名	会社名
会長	溝田 雅洋	持田製薬工場(株)	理事	窪田 信幸	栄研化学(株)
副会長	高畠 久幸	中外製薬工業(株)	理事	淺野 雅幸	グラクソ・スミスクライン(株)
副会長	田中 哲好	久光製薬(株)	理事	富永 英夫	ジェーピーエス製薬(株)
副会長	松谷 正光	マニー(株)	理事	三上 直子	(株)シーボン
監事	上田 国義	花王(株)	理事	三谷 肇	田辺三菱製薬工場(株)
監事	栄谷 治	興和(株)	理事	松尾 秀隆	東芝杏”イカリシステム”(株)
監事	坂ノ上君雄	全薬工業(株)	理事	中西 賢介	(株)ナカニシ
			理事	村田 友次	日本サーファクト工業(株)
			理事	土井 克彦	フォルケ”ウム”イカリ(株)
			理事	小野塚文雄	不二ラテックス(株)

■平成23年度 一般会計収入支出予算

定期総会で可決された当会の平成23年度一般会計予算は次のとおりです。

収入の部		支出の部	
科 目	予 算 額	項 目	予 算 額
1 会 費	5,190,000	1 会議費	700,000
2 県からの受託金	450,000	1 定期総会	500,000
3 事 業 収 入	50,000	2 理事会等	200,000
4 雑 収 入	62,891	2 事務費	2,400,000
5 繰 越 金	947,109	1 職員費	1,980,000
収 入 合 計	6,700,000	2 事務費	410,000
		3 事務局活動費	10,000
		3 事業費	2,780,000
		1 研修会費	1,570,000
		2 表彰費	200,000
		3 啓発費	320,000
		4 会報発行費	240,000
		5 災害時避難所常備薬備蓄事業費	450,000
		4 負担金	220,000
		1 事務所負担金	200,000
		2 各種協議会等	20,000
		5 記念大会等準備積立金	500,000
		6 予備費	100,000
		支 出 合 計	6,700,000

事務局職員の紹介

転 出			転 入		
役職名	氏 名	転出先	役職名	氏 名	前 所 属
業務課長	薄井仁一	退職	業務課長	八島利光	保健環境センター
主幹兼 課長補佐 (総括)	高山尚志	保健環境センター	主幹兼 課長補佐 (総括)	森川博夫	県南健康福祉センター
課長補佐	斎藤篤雄	今市健康福祉センター	課長補佐	加藤治	県北健康福祉センター
主査	荒井顕義	県北健康福祉センター	技 師	長南菜津子	県北健康福祉センター
主査	大橋美佐子	県南健康福祉センター			

第51回栃木県公衆衛生大会及び第49回栃木県公衆衛生学会開催

■ 第51回栃木県公衆衛生大会

平成23年9月9日(金)、第51回栃木県公衆衛生大会が宇都宮市内の栃木県総合文化センターで開催されました。

この大会において、当会のジェーピーエス製薬株式会社栃木工場様が薬事衛生優良施設の部で知事表彰を受賞されました。同社は「人類共通の願い『健康』」を永遠のテーマに、常に高品質で信頼される製品を提供するため、良質な原料生薬の確保と、品質管理の徹底に取り組んでいます。GMPに基づき品質試験や品質保証業務を行い、高品質を維持する努力を継続していることが高く評価されたところです。



■ 第49回栃木県公衆衛生学会

同日午後から開催された公衆衛生学会では、マニー(株)様、ジェーピーエス製薬(株)様、持田製薬工場(株)様、不二ラテックス(株)様の計4社が、栃木県保健福祉部薬務課長の八島利光座長のもとで、それぞれの日頃の業務に係る成果を発表し、活発な質疑応答が行われ、非常に充実した学会でした。

「海外工場へのE O G滅菌工程導入について」

マニー株式会社 Q A室

斎藤 正紀 様



「錠剤ビン詰め充填包装ラインの工程管理について」

ジェーピーエス製薬株式会社 栃木工場

宇梶 周一 様



「固形製剤製造エリアの再整備事例」

持田製薬工業株式会社 本社工場

川村 義彦 様



「天然ゴム製品の劣化について」

不二ラテックス株式会社 真岡工場

坂本 憲一 様



「県内医療・理工系学生のための工場見学・懇談会」開催

平成17年度から薬事工業会事業として、県内の医療・理工系学生を対象に医薬品や化粧品等の製造工場の見学・懇談会を開催しておりますが、今年度は、全薬工業（株）栃木工場の御協力を得て、9月7日（水）に開催いたしました。

今回は、宇都宮大学大学院農学研究科、宇都宮大学農学部及び国際医療福祉大学薬学部の学生と関係者合わせて12名が参加しました。

宇都宮からの参加者は、那須塩原市の那須ミッドシティホテルで残りの参加者と合流。昼食後、参加者12名を乗せたリムジン（交通のバス）は、秋晴れの那須野が原を30分ほど走り、午後1時に全薬工業（株）栃木工場に到着しました。

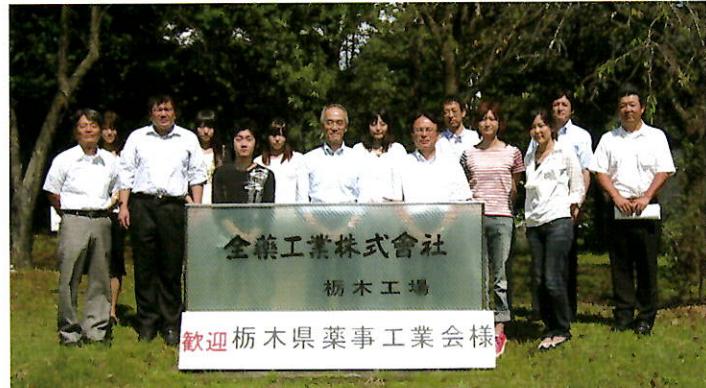
工場の入口で、坂ノ上工場長をはじめ工場の皆様の出迎えを受け、記念写真撮影がありました。

建物に入ると直ぐ、学生さんには経験のため、工場の従業員の皆様と同じ作業服への更衣と「衛生確認表」の記入をしていただきました。ラウンジルームにて、薬事工業会の溝田会長から主催者あいさつ、坂ノ上工場長から歓迎のあいさつの後、担当者から会社概要、栃木工場のモットー『安全第一・品質第一』、主な製品、製造の流れや品質確保への取組などの説明を受け、工場紹介ビデオを見せていただきました。

その後、2班に分かれて、固形製剤製造室、外用剤製造室、充填室・包装室、内用液剤充填・包装室、製品倉庫、試験室を見学いたしました。見学者用に用意された打錠機の杵や臼を間近で見ることができたり、見学中に一時停止したラインでは、「機械も見つめられて緊張したのでしょうか。」とユーモアあふれる説明があったり、とても有意義な見学でした。

懇談会では、学生さんから、見学直後の感想として、「品質管理に気を使っていることが分かった」、「説明がとてもわかりやすかった」、「説明者が機械を熟知していることを感じた」などが述べられました。また、「警告灯の黄色は何を意味するのか」、「放射能問題の影響はあったのか」、「甘草を配合している目的は」、「打錠機の性能はどのくらいか」、「錠剤の湿度はどのように管理しているのか」などの質問が出され、工場側との活発な意見交換が行われました。また、「使用期限の切れた医薬品は使用しないほうがよいのか」といった素朴な質問も寄せられました。有意義な見学・懇談会は午後4時に終了しました。

最後に、今回の事業を快く承諾していただいた全薬工業（株）生産本部栃木工場の遊作本部長、坂ノ上工場長をはじめ工場の皆様には多大なる御協力を賜りました。紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。



溝田会長



坂ノ上工場長



東日本大震災により、多くの方の尊い命が失われたことに深く哀悼の意を表します。

また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

栃木県薬事工業会 会員一同

■ 「災害時における物資の供給協力に関する協定」

これまで、県からの委託を受けて避難所配置用医薬品の備蓄を行っておりましたが、平成23年3月30日に、県との間で「災害時における物資の供給協力に関する協定」を締結いたしました。

現在、会員9社が、地震などの大規模な災害が発生した際、避難所等へ配置する医薬品や医薬部外品等を備蓄しております。

東日本大震災では、県からの要請により、備蓄していた避難所配置用医薬品等を供給し、県は、3月25日（金）、県内46カ所の避難所に、避難所配置用医薬品等を配布しました。



宇都宮市内の高等学校武道館に搬入された医薬品等と、各避難所に供給された医薬品等のセット（鎮痛剤、外皮用薬、目薬、湿布薬及びビタミンB剤、マスク、カイロ、紙おむつ、ウェットティッシュ及び生理用ナプキン等）

発行日 平成23年12月 発行所 栃木県薬事工業会 宇都宮市本町12-11 栃木会館2階
TEL (028) 650-6163 E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp